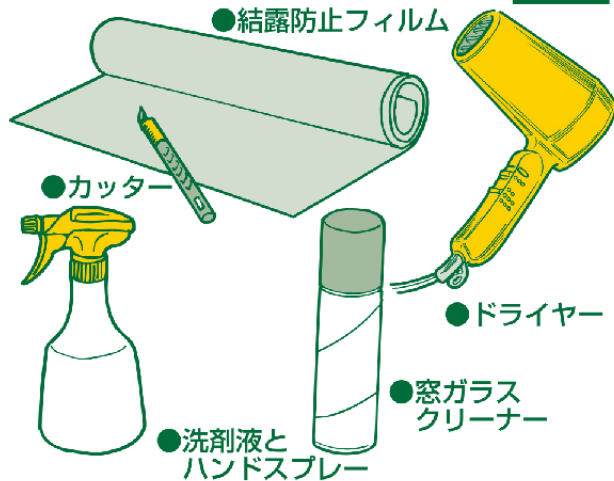


用意する物



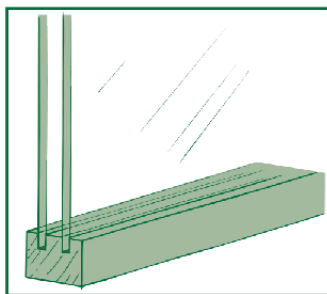
どうして結露ができるの？

それは部屋の中が暖かく、逆に外の温度が低いため、内と外が接している窓ガラス付近の水分が冷やされて小さな水の粒となってガラスにくっつき、それらがたくさん集まって水滴になるのです。



どうすれば防げるの？

結論としては、窓付近の温度差をなくすことです。最新の住宅では二重ガラスが増えてきました。二重ガラスだと真ん中に空気の層ができてそれが温度のクッションの役目をして、結露しなくなるのです。ですから一枚ガラスの窓もこの原理を応用すればいいのです。



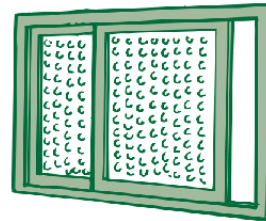
じっさいにどうするの？

- 結露防止フィルムを貼りましょう。
- リフォームで二重ガラスにできるサッシもありますので、ご相談下さい。

ここがポイント！

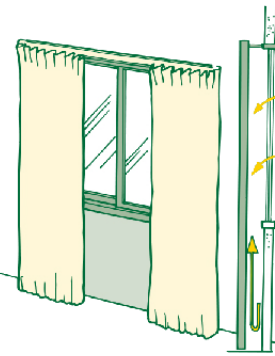
●荷造りのプチプチシートで代用。

荷造りされてくる包装用シート(通称プチプチシート)を貼ると効果的です。この場合は裏が粘着シートになっていないので、薄くて透明の両面テープを内側に貼り、それにプチプチシートを貼るようなといいでしょう。しかし見た目はあまりお勧めできませんので、小さな窓や、応急の場合にこの方法を利用してください。



●カーテンをうまく利用して保温効果アップ。

カーテンの幅を広めにして、長さも床まで垂らすようにすると、窓に近い冷たい空気が室内に入ってきませんので、その分室内の温度も保てるというものです。さらに、生地も厚手にして、二重吊りにすると保温効果が高くなります。



サービスのご案内

			●下記クレジットカードがご利用できます				
配送	切り売り商品	修理					
返品・交換	表札・額の受注	スパークアップ					
			☐はギフト券もご利用いただけます				



制作発行／株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

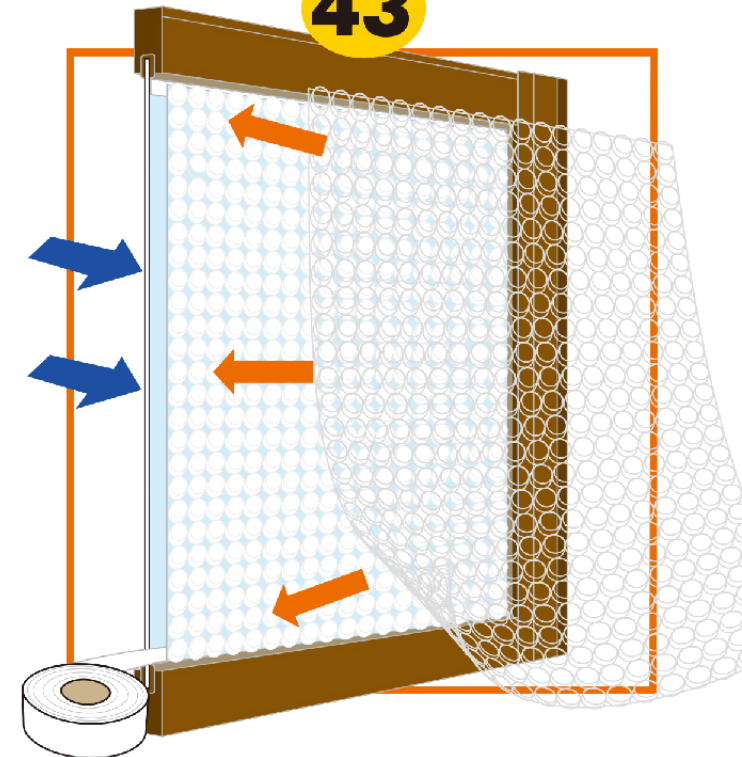
TEL.027-345-1111(大代表)

窓の結露を予防する

自分でやってみよう!

セキチュー
How To D.I.Y

43



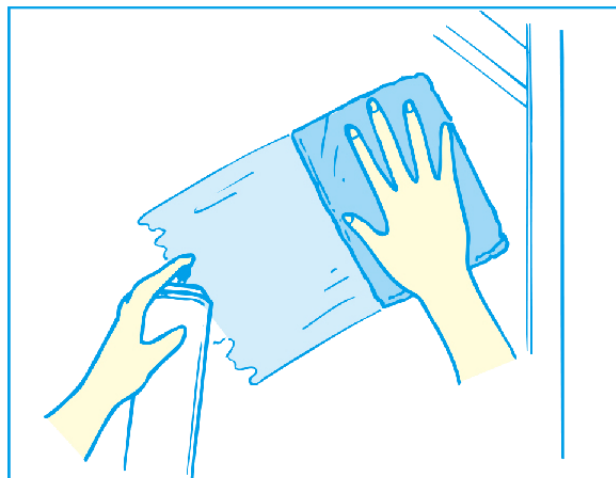
冬の夜のだんらん、暖かいお部屋は快適ですが、窓に水滴がたくさんつくという悩みもつきまといます。これを結露といいます。たくさん水滴がつくとそれがだんだん下に垂れてきて、建具や床を濡らしてしまうようになります。そんないやな結露にさよならできる方法を紹介します。

結露防止フィルムを貼りましょう。



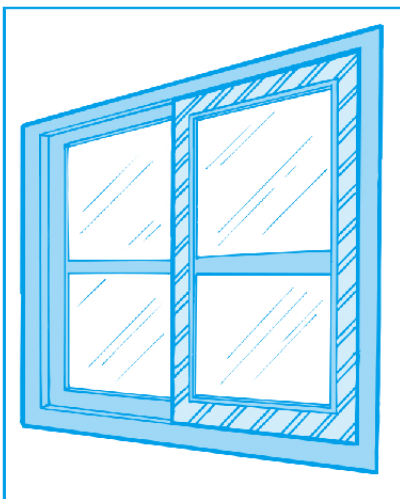
1 窓ガラスをきれいにします。

窓ガラスについているホコリやタバコのヤニ等をガラス用クリーナーできれいに落としてください。



2 両面テープを貼ります。

専用の両面テープを、はくり紙をはがさないで、窓枠の内側の端に沿って四方に貼ります。



3 フィルムを切ります。

まず窓ガラスの上部の両面テープのはくり紙をはがし、上部だけフィルムを貼ります。次に両端のテープのはくり紙を徐々にはがしながら、フィルムを貼っていきましょう。そして最後に下部のはくり紙をはがして貼ってください。貼り終わったらもう一度接着している部分を指でしっかりと圧着してください。



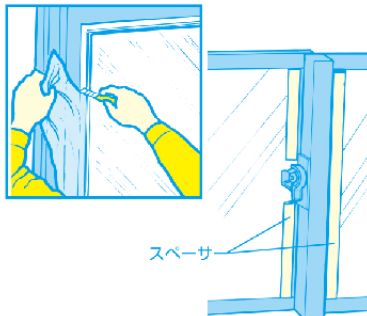
4 フィルムのしわを取ります。

まず周囲の方からゆっくりと、ドライヤーをフィルムから3cm以上離して当てると、フィルムが収縮してピンと張ります。かけ終わったら、もう一度全体にかけてください。



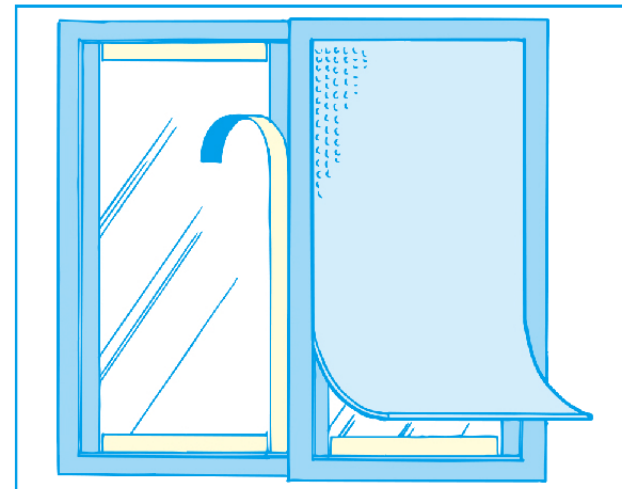
5 余分なフィルムをカットします。

窓枠からはみ出しているフィルムを両面テープに沿って、刃を長めに出したよく切れるカッターで切り取っていきましょう。
※窓枠の厚みが同じでない場合、厚さを同一にするスペーサー(別売)を薄い方に貼って厚さを調節してください。



※水で貼るタイプのももあります。

窓ガラス断熱シートを貼りましょう。



1 両面テープを貼ります。

ガラス面のほこりや汚れをよく拭きとり、両面テープをガラス面の四隅に貼ります。

2 断熱シートを貼ります。

シートを窓の大きさに切り、まず上辺の両面テープの裏紙をはがして、シートの上辺をそれに合わせて貼りつけます。そして次に左右のテープの裏紙をはがしながら、シートを貼りつけていき、最後にピンとシートを伸ばして、下辺の両面テープの裏紙をはがして、貼りつけてください。

※水で貼るタイプのももあります。

結露防止スプレーをしましょう。

窓用の洗剤と同じように窓にスプレーして布でよく磨いてください。それだけで窓ガラスに被膜を作って窓の水滴を大きくしなくなり、結果的に水たれが防げます。

